

## 歯のフッ素症について

①過量のフッ化物を、②歯のエナメル質形成する時期に、③長期間摂取することの3条件が重なった時に発現する**エナメル質形成不全歯の1種で5段階あり**、症状は進行しない。

4段階**Moderate**と5段階**Sever**が審美的に問題あるが、3段階目までは美しい歯。

また、フロリデーションやフッ化物洗口で、「歯のフッ素症」は**発現しません**。

歯のフッ素症は**3条件**が重るときのみ発現

フッ化物洗口では①②の条件が欠けるので発生しない。

①過量のフッ化物を摂取する

歯のフッ素症

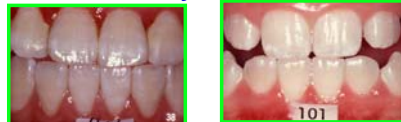
②歯冠を形成する時期に

③長期間継続

### 1段階 Questionable (疑問型)



### 2段階 Very mild (軽微)



美しい病気でない「歯のフッ素症」

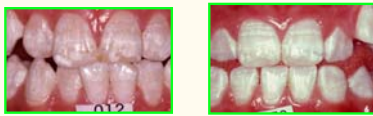
### 3段階 Mild (軽度)



1から3段階は審美的に問題なく病気でない「歯のフッ素症」

むし歯予防で、5段階あるのうち、審美的に問題のある段階の**中等度・重度は発現せず**

### 4段階 Moderate (中等度)



### 5段階 Severe (重度)



フロリデーションやフッ化物洗口で、中等度、重度の「歯のフッ素症」が発現することは決してありません。

フッ素イオン濃度**1.8ppm**以下で「**中等度以上の歯のフッ素症**」は発現せず。洗口は**0.1~0.2ppm**相当

